

興南男子18連覇 女子コザ29年ぶり頂点

六人ハンドボール

豊見城市民体育館

【男子】	興南	40	5	2	2	2	延	14	15
▽決勝	コザ	30	2	2	1	3	長	17	12
			9	21	12	10			
			22						
			浦添						

男子決勝 優勝した興南の選手たち



男子決勝 興南一那覇西 再延長後半、シュートを決める興南の大城凌駕=31日、豊見城市民体育館 (小川昌宏撮影)

興南、再延長の激戦制す 「常勝」の看板死守

再延長の後半。センターラインを超える那覇西の高いマンツーマンディフェンスに攻めあぐねていた興南の脚が動いた。センターの大城凌駕が鋭く切り込む。「ここが踏ん張り時だ。右サイド、カットインで連続得点するなど、劣勢からの劇的な逆転勝利で「常勝」の看板を死守し、18連覇を達成した。

後半の終盤、カットインやロングシュートで連続得点を許し、流れを保持できなかった。興南も譲らず、167秒の下手なパスが残り40秒で相手ディフェンスの脇下からの技ありのシュートを突き刺す。勝負ありと思われたが那覇西も食らい付き、終了ブザーと同時に失点して延長戦に突入した。

延長でも決着がつかず、迎えた再延長。照屋喜隆監督は「気持ちで負けるな」と送り出した。横線の手堅い守りから徐々にリズムを取り戻した興南は「らしさ」を叩き出す。右サイド、粘るライバルを引き離した。

3回戦で負傷しベンチからけき飛ばした中島大智主将は「連覇のプレッシャーもあったが、気持ちよく集中しよう」と声を掛け合った。全国制覇に向け飛躍を誓った。照屋監督は「守備も攻撃も運動性を高めるためにハードワークが必要だ」と課題を挙げた。

(松堂秀樹)

高精度シュートで難局打開 コザ 後半、GK好セーブで鼓舞



女子決勝 コザ浦添 後半、シュートを放つコザの仲宗根咲歩

○：後半、エースの名嘉陽菜、司令塔の平良心愛が相次いで負傷退場し、苦しい展開が続いたコザだが、右ハックの田里優生と右サイドの仲宗根咲歩の精度の高いシュートで難局を乗り切り、29年ぶりに栄冠を手にした。

課題の立ち上がりの遅さをしっかりと改善した。後半は主力の退場で劣勢に立たされたが、GK松堂美姫が好セーブを連発しチームを鼓舞した。仲宗根はシュート成功率90・8%でチーム最多の10得点を挙げた。目標はあくまで全国制覇だ。日本一になる」と力を込めた。

(松堂秀樹)



女子決勝 優勝したコザの選手たち